

貧困、差別、ネグレクト… 過酷な環境下で生きる3人の子どもたちを繋いだのは、地域の教育センターだった。 社会の片隅に生きる人々を実直な眼差しで描く、心を揺さぶる物語。 フレデリック・ワイズマン

のような感性

—The Film Stage

この映画には魔法の力がある。

## 最高のカナダ映画

-ORIGINAL CIN

Rotten Tomatoes

全米映画批評サイト
ロッテントマト

フレッシュ!

世界の映画祭を席巻!

## カナダで絶賛された小説を、ドキュメンタリー出身監督が映画化

監督を務めたのは、ドキュメンタリーの名手であるシャシャ・ナカイとリッチ・ウィリアムソン。2016年に共同で制作した『Frame394』(日本未公開)は第89回米国アカデミー賞の短編ドキュメンタリー賞のショートリストにも選出された。本作はカナダの作家キャサリン・エルナンデスが実体験をもとに執筆したデビュー小説『Scarborough』(未訳)を自ら脚本化し、2人に持ち込んだことから制作がスタート。2人にとって初の劇映画である本作はカナダ・アカデミー賞で11部門ノミネート、8部門を受賞。国内外の映画祭で20もの賞を獲得する快挙を成し遂げた。





本作のアンサンブルキャストには物語の舞台であるスカボロー出身の俳優も多く含まれており、そのほとんどは演技未経験であった。主役に抜擢されたのは、本作でスクリーンデビューを果たした3人の子どもたち。彼らの驚くほど自然で純真な演技が観客の心を打ち、作品に命を吹き込んでいる。現代社会が抱える多様な問題を提起しながらも、人々の希望やコミュニティの美しさを温かく描いた傑作が誕生した。



かあま

**STORY** 多様な文化を持つ人々が多く暮らす、カナダ・トロント東部に位置するスカボロー。そこに暮らす3人の子供たち。精神疾患を抱えた父親の暴力から逃げるようにスカボローにやって来たフィリピン人のビン。家族4人でシェルターに暮らす先住民の血を引くシルヴィー。そしてネグレクトされ両親に翻弄され続けるローラ。そんな彼らが安心して過ごせる場所は、ソーシャルワーカーのヒナが責任者を務める教育センターだった。厳しい環境下で生きながらも、ささやかなきずなを育んでいく3人だったのだが…。

@culturallife\_filminfo

監督:シャシャ・ナカイ、リッチ・ウィリアムソン|出演:リアム・ディアス、エッセンス・フォックス、アンナ・クレア・ベイテル 原題:Scarborough|カナダ|2021 年|138 分|カラー|英語|スコープ|5.1ch|🌜

日本語字幕:島崎あかり|後援:カナダ大使館|配給・宣伝:カルチュアルライフ

© 2021 2647287 Ontario Inc. for Compy Films Inc.

ORNY FLANKINI HE PRITECULARY THE PLANKAN AND HE PLANT TO PRESENT AND A SET OF THE PLANKAN AND HE PLANT TO PRESENT AND A SET OF THE PLANT OF THE PLAN

11.7<sub>FRI</sub>







